

原発いらん！
山口ネットワーク
2023年1月の報告
汚染水海洋放出絶対反対
#415号

次の集り

2023年2月12日(日) 13時30分
周南市役所 シビック交流室 6

中電が祝島島民の会を訴えた裁判について。

2月4日(土) 10時
祝島の裁判を支援する会(仮称)設立総会

場所 光市 島田コミュニティセンター
(土市民ホールの西隣)

2月5日(日) 尾道市での設立総会。ZOOMで。

3月10日(金) 10時20分より2回目の裁判。

山石国支部。

傍聴にかけつけ下さい。

法廷に入れなくても、報告集会(山石国市民館小ホール)で詳しい内容が聞けます。

3月11日(土) 9時開場、14時閉会
上関町尾熊毛の中電事務所前まで。

黙祷とトーク集会

3月18日(土) 9時開場、14時閉会

上関原発を建てさせない山口大集会

山口市 継新公園 ビッグシエル

- チラシを同封しています。
- カンパの要請書と同封しています。
- マルシェの申し込みについて。↓P3

裏面にネットワークのハートの絵があります。

代表者 小中 進
〒742-1513 山口県熊毛郡 田布施町麻郷2208
Tel. Fax. 0820-55-6291
振込口座(年会費2000円)
(郵)01590-5-27469
口座名「原発いらん/山口ネットワーク」
作製・印刷・発送
周防灘の自然を守る会
三浦 翠 外

3.18山口大集会
のチラシを配って下さる方は
安藤さん(080-6331-0960)
小中さん(090-8996-8378)
に連絡して下さい。

統一地方選挙について。

労働組合の連合が原発推進に舵を切ったこと、この候補が上関原発建設に反対なのか見分けにくい状況になりました。
そこで、「原発いらん/山口ネットワーク」では12月の例会で上関原発計画に反対の候補を推薦することを決めました。

県市町どの選挙でも推薦します。希望される方は小中進代表まで連絡して下さい。(0820-5516291)

下記に推薦した方です。↓P4
推薦案内書と、新聞記事 ↓P4

署名用紙を同封しています。

2022年12月3日、山口基地の米兵が車を盗んで事故して大破、そのまゝ基地に逃げ込んだ事件について。
「米兵による犯罪を国内法で処罰できるようにすることを目指す 諸願署名」です。

この署名には山石国市長も署名しました。
日米地位協定見直しへの大きな一歩となるよう署名にご協力下さい。

2023年2月19日(日) 14時
山石国市役所横広場で大集会が開かれます。

2022年12月4日「老朽原発うごかすな」関西色風全国集会所では、90人が想いの御堂筋デモ。ドイツテレビも取材に。
かれます。こちらにも参加しよう。沈黙は金ではない。

今年集のおねがい。
今回振込用紙を同封してあります。年会費の振込をよろしくお願いたします。年会費は2000円です。可能な方はカンパもよろしく。
全員に同封してありますので、可なりお気になさらないで下さい。振込票をもとに領収書とさせていただきます。
現金も直接手渡された方には領収書を通信に同封してあります。

● 例会の報告 (2022年12月11日)

● 参加地域 東広島、田布施、光、下松、周南、宇部

● 小中代表より

今年最後の例会になりました。今年はいろんな事があつて、あつという間に年末になりました。

通信の発送を防府の皆さんに18年間もやっていただいて、本当にありがとうございます。

来年の春の統一地方選挙では何人か入る原発反対の県議をなんとかも当選させなくてはいいけません。戸倉氏(周南)、上藤氏、宮本氏(宇部)、中島氏(山陽小野田)のところには推進派が対抗馬を立てる動きが、あつります。

12月28日に、現地に行つて「つごいの家」の掃除をして、正月飾りをつけましょう。いのししが壊した浜の近くの道もながしたいと思つています。

釣り人の間では、田の瀬には行つてはいけないと思つている人が多いらしい。中電が途中に立ちこいる10数本の看板をせいでと思つています。

「中電の工事区域なので立ち入り禁止、監視カメラで監視している」という看板を見ればみんな恐れをなして帰つてしまう。

中電が埋立免許を取得しても、埋立工事が完了してその土地が中電の物になるまでは何も海も公共用物なので誰も行けることを知らせたい。浜に下りる道は町道なので、誰も通れるのに、中電は埋立の看板をいっぺい立てている。

魚はたくさんいるので釣り人とかいたらいいと思つています。

● 宇部市の県議選では、原発推進派の中国電力の市議会議員を擁立して反対派に圧力を加えています。

● 山陽小野田市の県議選でも、原発推進派が農協出身の対抗馬を擁立して、原発反対へ揺さぶりをかけています。

● 東部には無投票の選挙区が多い。大島、柳井、光、下松の各選挙区はすべて無投票になりそう。

● 「原発いっしょ」の山ノネットワークとして候補者に推薦を

出したらどうか。(一部) 労働組合 原発推進になつて

反対の議員を落そうとするなんて一般の人にはわづらうだろうから。

「みなさんどうでしょうが、原発反対で立候補する人をネットワークとして推薦することについて。」

「全員が賛成のごさうじょうじょう」

● 県から文書回答が来たが、県の条例にもとづいて判断した。という決り文句ばかりで、何の内容もない。

● 上関町議会でも町長が「上関原発計画がすぐに動くわけではない」と発言。

● 山秋真さん「原発をつくらせない人々の着者のツイッターで国会での本清美氏の質問をうつしてこいた。

「世界の原発が廃止が決つたものが199基あるがその(平内)運転年数は、29年。唯一の例外はパキスタンにある50年のもの。」

「山中原子力規制委員長は就任前に業界から多額の献金も受取っている。」

「今回、原子力規制委員会の委員はすべて経産省出身者になつた」

● これだけの問題が起きていとも議員も国民も声を上げないのはなぜか。

②



● 例会の報告 (2023年1月8日)

● 参加地域 田布施、光、下松、周南、宇部

① 小中代表より

あけましておめでとうございます。

昨年は岸田政権が急に原発推進へ舵を切り上関町では、町長選挙、中電がボーリング調査で調停申請、3度目となる埋立免許延長申請、県の許可、中電による裁判と忙しい年となりました。

今年も、祝島の裁判が焦点になります。この裁判を通じて多くの人に本当の状況を知ってもらおうとチャンスにして行きたい。

漁業権の問題で上関原発は必ずストップできる確信を持っています。中電は広島高裁の判決を持ち出しに来るでしょうが、それは、漁業権を無視した違憲判決です。

今年は大切な年になると思うので、原発問題に関心のない人の心にも響くような訴えをしに行きたいと思えます。また、この例会もしつかりと充実させて行きたいと思えます。今年もみんながんばりましょう。

② 現地の様子

12月28日4人で「集いの家」の大掃除をして、しの飾りもつけました。トイレの換気扇の煙臭がブラブラしていたのでロープで屋根に固定しました。田の浦に下りる道は落葉がすごかったので、掃りてすべらないようにしました。浜に出る手前の溝のところは、いっしょに石を落とすので小中土木建設が修理しました。(笑)

浜への排水に少し泡がまじっていたのが気になりました。大切な田の浦なので、沈砂池に何か入れたらダメな気がします。中電のホレハブの横に女性用トイレを設置しているのが見えました。ペンギンピアは緑色、まるでドラエモンのドアのようでカラフルです。

帰り道で猪に遭遇しました。大きな親2頭の子連れと別の群れにも出会いビックリしました。これからうまた地元と呼びかけて太陽光発電まわりの草刈りもしたいと思えます。

浜は大きなゴミはなくなりましたが、発泡スチロールの砕けたのが砂や海岸と混じって、手ごもつめないので拾います。

・次の田の浦ピクニックは2月1日。通信は向いていませんが連絡とり合おうと思っています。

③ 中電が祝島島民の会を訴えた裁判のこと

3月10日に才2回目の裁判があります。山口支部(山口支部)が祝島の皆さんが帰りの船に間に合うように、10時半開庭です。傍聴に行くことが祝島への心援になります。法廷に入らなくても、後の報告会で詳しく内容を知らせてあげられます。

④ 3月18日(土)上関(原発を建てさせない)山口大集会のこと。 ↓ P ①

⑤ 3月11日(土)尾熊毛の中電事務所での集会のこと。 ↓ P ①

裁判のこと

中電が祝島島民の会を訴えた裁判(仮称) 才2回、山口支部
 2023年3月10日(金) 10時30分
 伊方原発運転差止の裁判(19回) 山口支部
 2023年3月16日(木) 14時

会計報告

2023年1月の会計報告—原発いらん!山口ネット7-

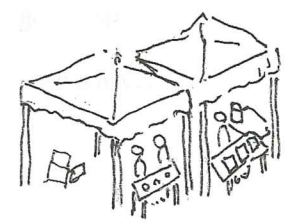
12.11月の報告の残高	176,412
収入 会員とカンパ	34,000
支出	
11月の報告 作製・送料	29,966
12月例会会場費	1,400
1月例会 "	1,400
例会資料コピー	925
振込用紙 印字料	1,120
振込通知料	880
	35,691
差引残高	174,721

○ 会員とカンパの振込みもありありがとうございました。
 ○ 年会費は2000円です。
 ○ 今回振込用紙同封しているの、会費よろしく。可能な方はカンパもよろしく。全員に入れていきますので、おられた方は気にさればいいです。

③

マルシェ <出店にあたってのお知らせ>

- 出店を希望される方は、担当の打道さんに連絡し、申込書Eメールで下ささい。
- 1 日 時 2023年3月18日(土) 10時~14時
車道の乗り入れは9時まで。
 - 2 会 場 山口市新百年記念公園 三段池周辺(ビッグシェル・前庭)
 - 3 区 画 1区画 間口2.5m×奥行2.5m
 - 4 出店料 @2,000円(非常料の場合は無料)
 - 5 問合先 上関原発を建てさせない山口県民連絡会(チラシ参照)
マルシェ担当: 打道 携帯電話 090-1336-1100 FAX 083-932-0412
メール info@yumaguchiroten.or.jp



山口県市議会・町議会議員選挙

下関市選挙区 (定数 3 4)

山下隆夫
西岡広伸
桂 誠
桧垣徳雄
片山房一

宇部市選挙区 (定数 2 8)

荒川憲幸
時田洋輔
浅田 徹
いがらし ひとみ

平生町選挙区 (定数 1 2)

赤松義生
原 真紀

和木町選挙区 (定数 1 0)

上田丈二

山口県議会議員選挙

下関市選挙区 (定数 9)

山陽小野田市選挙区 (定数 2)

宇部市選挙区 (定数 5)

山口市選挙区 (定数 6)

周南市選挙区 (定数 5)

岩国市・和木町選挙区 (定数 5)

木佐木大助

中嶋光雄

藤本一規

宮本輝男

河合喜代

戸倉多香子

大西明子

訂正一月 25 日推薦依頼の井原様より連絡があり
支持母体である「草の根」の規約に団体の推薦は
受けないとの規約がありましたので原発問題は
ささかも変わりませんが推薦を辞退いたします。
との丁寧なお話があり 19 名に訂正させていただきます。

2022.12.20 中口



**上関原発に反対
候補者推薦決定**

統一選などで市民団体
中国電力の上関原発(上
関町)計画に反対する市民
団体「原発いらん!山口ネ
ットワーク」は、2023
年の統一地方選など今後
の選挙で同計画に反対する
候補者を推薦すると決め
た。

22年10月の上関町長選で
原発推進派の無所属新人が
7割の得票率で当選したほ
か、国が次世代型の原発を
新増設する方針を検討し始
めたことを受け、候補者の

推薦を初めて決めた。首長
選や県議選、市町議選に合
わせ県民の関心を高める狙
い。県外や24年以降の選挙
も対象にする。希望者に推
薦を出してもらう。

県内外の約300人でつ
くる同ネットワークの小中
進代表(74)は、11年に起き
た福島第一原発事故の教訓
が忘れられ、二酸化炭素を
削減する観点だけで原発計
画が進められているとし
「県民レベルで反対の世論
を高め、国に方針転換を追
りたい」と話す。小中代表
09060(0609)6(83
78。

上関原発建設反対の候補者へ推薦のご案内 2022.12.19

季冬の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、中国電力による上関原発計画は41年の長きに亘り、上関町民を分断し、
苦しめ続けて来ました。

現岸田政権は原発新増設に言及していますが上関原発計画の先行きは依然と
して不透明と西哲夫新上関町長も述べています。

福島事故により私たちは原発事故の恐ろしさを実感しました。

世論調査によると、原発を維持または増加させることに賛成の意見は約1割
で脱原発を求める声が6割を超えています。

なんとかこの声を政治に直結させて一日も早く上関原発計画を中止し、若い
人たちが望んでいる原発に頼らない上関町を実現したいと思います。

そこで、2023年の統一地方選挙や各地での選挙に上関原発計画反対の立
場を明確にして立候補される方を「原発いらん!山口ネットワーク」として推薦
し、上関原発計画中止の声を力に変えるため組織決定しました。

以上皆様へ、ご案内とさせていただきます。

原発いらん!山口ネットワーク 代表 小 中 進

〒742-1513 山口県熊毛郡出布施町麻郷 2208
連絡先 TEL・FAX 0820-55-6291
携帯・090-8996-8378

伊方原発運転差止裁判（本裁判）、第18回口頭弁論の報告
 ==「解釈線が間違ふこともある」と認めた四電==

山田記

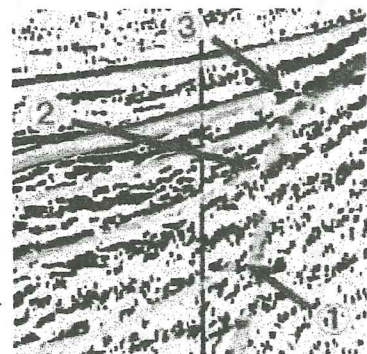
原発敷地近くに「活断層が存在する」という私たちの主張に対し、被告四電は実施した海上音波探査で「活断層は存在しない」という主張を繰り返していました。しかし四電が行った海上音波探査法は古い二次元反射法地震探査という手法。この方法では疑似信号が混じりはっきりした断層線図面が出来ず、不確定な解釈によってしか判断できないものです。今はより精密な信号が得られる三次元反射法が確立しており、この手法で適切な場所を特定しその上でボーリング調査をして初めて活断層かどうかわかります。私たちはこの調査を行うのは四電の責任だと再三にわたって主張してきました。

ところが四電の主張は、音波探査によって得られた解釈図面は「専門技術者でなければ理解できない！＝ 裁判官にも理解してもらう必要はない！」として、私たちが「解釈線をどのように引いたのか、疑似信号と真の信号とはどう峻別したのか」などの求釈明に応じようとしていませんでした。

これに対し裁判官は私たち原告の主張を取り入れ「どういう根拠で解釈線を引いたのか明らかにしなさい」と勧告をしてきました。

断層判定図面は正しいと言っていたが...

裁判官の勧告を無視できなくなった四電がとうとう令和4年10月31日付被告準備書面(19)において従来の主張を繰り返しつつも、解釈線の引き方について述べるに至りました。しかし四電が答えたのは「海上音波探査記録の解釈は、記録に現れた濃淡模様の幾何パターンを基に、経験を積んだ技術者が目視で判読することによって行われる。そのため『細部に至るまで絶対的に



(途切れている図。どれが正しい解釈線?)

正しい唯一の解釈』というものは、いかなる海上音波探査記録においても存在しない。」と今まで正しいと主張してきたことをくつがえし「間違ふこともある」と見解を修正しました。であるなら最新の方法で活断層があるのかどうかを調査するのが責任ある態度です。

がん検診に例えれば

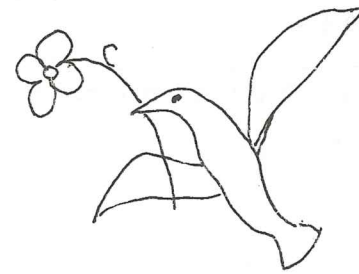
- * 反射法地震探査で2次元探査はレントゲン、3次元探査はCTのようなもの
- * ボーリング調査は、患部の組織をとってきて検査する細胞診のようなもの
- * 情報量が格段に違う。それをしない理由はない。

と改めて主張しました。

(次回の裁判は3月16日(木)2時)

■ イベント情報

日時	イベント	場所	主催・お問い合わせ
2/1 11:00~14:00	田の浦ヒロニフ&ヒューテグリーン		
2/4 10:00~	祝島の裁判を支援する会(仮称)設立総会	光市島田222番地2号	
2/4 オ部 11:00~12:00 オ二部 14:00~16:30	長生炭鉱水没事故81周年犠牲者追悼集会	長生炭鉱ひろば ヒストリイ 宇部	0836-21-8003 宇部 緑橋教会内
2/8 13:30~	朝鮮学校に補助金復活を!	下関市民センター	
2/11 集会 13:50~16:20 7時行進 16:20~17:00	オ57回 思想と信教の自由を守る山口県民集会 講師:高山佳奈子(京大法学教授・刑事法) 演題:精神的自由を支える民主主義のあり方 資料代 500円	山口県教育会館 大ホール	連らく先 083-972-2169 083-902-2789
2/12 13:30~	原発いっしょ!山口ネットワーク例会	周南市役所 シビック交流室6	連らく先 0820-55-6291
2/19 (日) 14:00~	基地米兵の車盗盗事件抗議集会	岩国駅前広場	市民連合 011421 090-4807-1538
2/26 (日) 13:00~	改憲発議反対、軍備増強を許すべし集会 講師:志葉 玲(はなれい) 戦場・環境ジャーナリスト	山口市民会館 大ホール	平和フォーラム
2/26 (日) 10:00~16:00	10:00~12:00 講演「あやふさげに食べさせるものがない!?」 講師:鈴木 宣弘 東京大学大学院教授 食料安全保障推進財団 理事長 13:15~16:00 活動報告	KDDI 維新ホール 会議室 140名	主催 山口県環境保全 型農業推進研究会 共催 池まぐちの裡子 岸 絵子・ヤツネ!やま ぐち 後援 山口県
3/10 (金) 10:30~	祝島の裁判	山口地裁岩口支部	連らく先 周南法律事務所
3/11 (土) 14:30~	「さうなら上関原発」私たちに福島を忘れたい	中電事務所前 (上関町尾熊毛)	0820-55-6291 (川中進)
3/16(日)	伊方原発裁判	岩口支部	
3/18	上関原発を建て止めて山口大集会	山口市維新公園 ビッグシール	



■地域の新聞記事

- ・(11/26 中国) 中電値上げ申請。家庭向け3割上げ。
- ・(11/27 よみうり) 伊方原発差止の訴訟、地盤の脆弱性、原告側が主張。

・(11/29 中口) 上関原発埋立免許 山口県許可。3度目延長、住民賛否。

・(12/2 中口) 上関原発巡り、知事要請。「原発本体の着工時期の見直しが付くまでは埋立工事をしてないこと」。

・(12/2 中口) 中電に課徴金700億円超。公取委命令案。カルテル過去最高額。

・(12/2 中口) 「記載不足」中電に注意。

・規制委、島根2号機工事計画で。

・(12/3 日経) 中国電、最終赤字 2097億円。

・(12/6 中口) 動き出した三陽火力発電2号機(出力100万kw)1、2号台合わせると、中電最大、脱炭素石炭火力に逆行の中。

・(12/6 中口) 上関原発建設反対申し入れ。広島県内の市民団体「上関原発止めのよう」広島ネットワークなど4団体。

・上関原発計画で西町長。次世代型中電の説明要求へ。反対住民と協調姿勢も。



西町長

・(12/8 中口) 風力発電計画延期へ。見直しした。見直しした。

- ・(12/10 中口) 原発交付金の配分割合合示可。島根県、半額を、松江市・周南市へ。県5億円、松江市3億円、出雲市/徳島、安来市/雲南市各5千万円。

・(12/13 中口) バイオマス発電毎月徴収。出光徳山事業所で完成式。出力10万世帯分。CO2削減23万トン超。燃料は東南アジアの木質ペレットとヤシ殻。

・(12/13 中口) 風力発電計画を修正へ。方法書での想定エリア。那須町や広島県北広島町で住民PK、反対。

・(12/15 中口) 来春の県議選、3人の立候補止民県選発表。三倉多香子(周南市)。



公取委が通知した課徴金額

中部電力とグループの中部電力ミライズ	約275億円
中国電力	700億円超
九州電力	約27億円

(関係者への取材などに基づく) 持ちかけた中電は、「ありません」と申告したの2700円。

山田村克彦氏(山口市) 酒本哲也氏(下関市)

・(12/16 中口) 瀬戸内カマヤノ海見あて20年。「横断隊」延べ数百人が参加。

・(12/16 中口) 現取県議の半数無回答。市民連合、回統一教会との関係調査。自民現取8割は回答せず。

・(12/17 中口) 島根2号機隣接建物内に焦げ跡、廃棄物処理施設。

・(12/17 中口) 中電、年635億円効率化へ。値上げ申請審査のたの。

・(12/20 中口) 上関原発に反対候補者推薦決定。統一党などで市民団体。

・(12/23 朝日) 原発調査の妨害予防、祝島の団体どう姿勢。中電の請求立案却求めろ。

・(12/24 中口) 島根原発2号機補正書提出終了。規制委へ。安全対策工事の完了は、23年11月。

・(12/28 日経) 中口電力ネットワークは、電力小売業者から受け取る送電網の利用料「託送料金」の引き上げを申請。平均的な家庭で、1ヶ月4000円程度の負担に。

2023
・(1/11 中口) 「上関原発の建設し、かりやる中電瀬本社長、年始のあいさつで上関町長、西哲夫氏に。

・(1/13 中口) 水素、P2モニア大電導入へ、中電JFRA、中電九電など四社と協業検討。

・(1/13 中口) 中電料金を不当表示か。公取委から調査開始通知。自由料金の方が割高になる場合がある事を知らせず。

・(1/18 中口) 県議選、定数47に56人が準備。無投票の区も。

・(1/28 中口) 競合新電力の顧客情報55件閲覧。地場の新電力、から怒りの声。

2022.12.12、全米海洋研究所(100以上の研究所が加盟)の協会(NAML) 日本政府の汚染水海洋放出に反対の声明をいたしました。

日本が計画している130万トンを超える福島第一原発事故による放射能汚染水の太平洋への放出に科学的に反対する。

私たちは日本政府に対し、決定された放射能汚染水の太平洋への放出計画を中止し、より広い科学コミュニティと協力して、海洋生物、人間の健康、そして生態学的、経済的、文化的に貴重な海洋資源に依存する人々の社会を守るため放出以外の方法を追求するよう強く求めます。

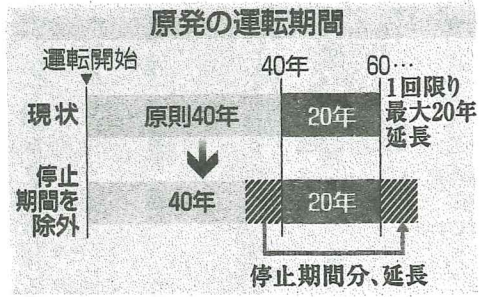
本文は、A4 1.5枚の非常に詳しいものですが今回は紙幅がないので要点のみとしました。いづれ全文をのせたいと思います。

関連する新聞記事

- ・(11/26日経) 電力子社、営業で「不可侵」協定。関電幹部が持ちかけ、18年秋以降3つのカルテル。1公取委。
- ・(11/26中口) 再生エネ拡大、見えぬ本気度。東京大先端科学技術研究センター研究顧問 小林 光氏
- ・(11/26日経) ESG投資は自然資本、森林や水資源停止温暖化抑制。災害、食料難改善へ。COP27で議論。
- ・(11/27日経) 気温上昇、干ばつ、洪水、感染症 200種増加。ウイルス菌も範囲に。
- ・(11/29中口) 原発運転停止期間は除外。60年を超える運転も可能に。1経営者計画案。

- ・(11/29中口) 「ふるさと変容」賠償対象。福島原発事故の指針、原賠審見直しへ。
- ・(11/29日経) 伊藤忠、太陽光パネル再生。1工場が最大年は5万トン。24年にも。

- ・(11/30中口) 豪格レートバリアリフ、サブ白化、危機遺産に動向。
- ・(11/30日経) 1豪、家庭向け太陽光発電ブーム。電気代高騰の負担軽減。
- ・(12/1中口) 原発行動計画案、国民不在で進めるのか「社説」。



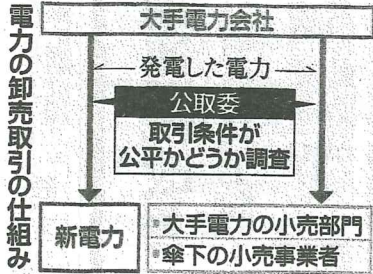
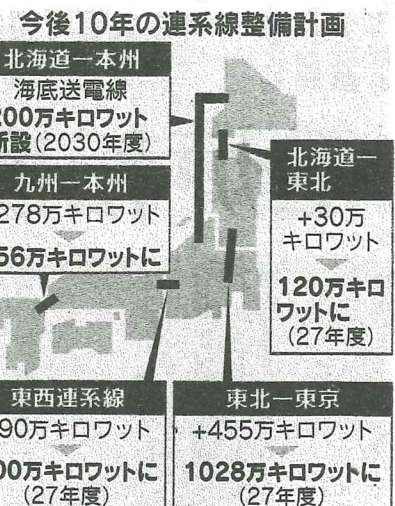
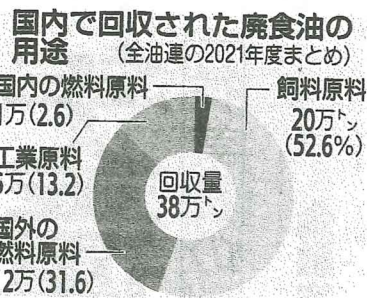
- ・(12/1日経) エネの節電まようから。政府家庭に呼びかけ。
- ・(12/1日経) 新型原子炉建替之推進、自民議連、政府に要求。
- ・(12/3中口) 関電と2社間カルテルか。3社役員3人が対応。↓
- ・(12/5日経) 水素戦略、気付けば周回運れ。日本の水素、アメリカの2倍高。
- ・(12/5日経) 市場中での電力カルテル。電力自由化進まず。周電、免れぬ説明責任。
- ・(12/5日経) 電力網に老朽火力リスク。停止頻発、既に10件超。
- ・(12/6中口) 除染土の再利用、埼玉で実証試験。環境省計画、県外で初。



- ・(12/6中口) 再エネ導入で住民説明会を周くよう求めるトランプの増加に反応。経営者。
- ・(12/6日経) 次世代原発「革新」に格差。政府本命は既存の改良型。新增設へ印象刷新狙う。

- ・(12/7日経) 長射程ミサイルに5兆円。防衛力整備計画で計上。政府調整。

- ・(12/7中口) 廃食用油争奪戦。航空機燃料の原料。世界的需要増。
- ・(12/7日経) 再生エネ「25年に最大電源」JEA予測。石炭抜く。
- ・(12/7日経) 送電線整備に6兆円超。50年までの計画案発表。
- ・(12/8日経) 原発の運転延長、コスト低減限定的。安全対策費用膨張が発電コストを押し上げる。大島堅一総合大学教授。
- ・(12/9中口) 新電力21%が事業断念。燃料高騰で。
- ・(12/10中口) 新宿御苑で除染土実験。環境省。
- ・(12/13日経) 茨城県議選(先教2)で自民現職10人落選。
- ・(12/14日経) 核融合でエネルギー「純増」レーザー型、米政府発表へ。(実用化は見せられない。廃棄物が出る、中性子線が出る)
- ・(12/15中口) 電力市場の公平性調査。公取委、卸売取引条件めぐり。↓
- ・(12/15日経) 来年度の原発再稼働率。周電、震災前水準に。森社長「70%台後半」。
- ・(12/16日経) カルテル「申告制」の威力。中国電力は課徴金70億円。周電は結果的にゼロ。
- ・(12/10中口) 東京都が戸建に太陽光義務化。
- ・(12/17日経) 世界の石炭利用最高。2022年。
- ・(12/19日経) 送電線、10年で100万kW増。政府計画、増強へ8倍。再エネも域で効率融通。↓
- ・(12/20中口) 沖縄電力、初の出力制御。太陽光10年前の5.6倍に。
- ・(12/20中口) COP26(国連生物多様性条約)15日締約国会議)新たな生態系目標。陸と海30%保全「合意」。途上国支援基金も。
- ・(12/21朝日) 資格不正取得者工事56件に從事。原発関連も。周電発表
- ・(12/21朝日) 原発事故賠償を増額。原賠審指針追加対象148万人。近く東電が支払い手続きを始める。
- ・(12/21朝日) 美浜原発差し止め却下。大阪地裁「40年超稼働、問題なし」―片戸護一弁護士「司法の役割を放棄した判決」と。



- ・(12/16日経) カルテル「申告制」の威力。中国電力は課徴金70億円。周電は結果的にゼロ。
- ・(12/10中口) 東京都が戸建に太陽光義務化。
- ・(12/17日経) 世界の石炭利用最高。2022年。
- ・(12/19日経) 送電線、10年で100万kW増。政府計画、増強へ8倍。再エネも域で効率融通。↓
- ・(12/20中口) 沖縄電力、初の出力制御。太陽光10年前の5.6倍に。
- ・(12/20中口) COP26(国連生物多様性条約)15日締約国会議)新たな生態系目標。陸と海30%保全「合意」。途上国支援基金も。
- ・(12/21朝日) 資格不正取得者工事56件に從事。原発関連も。周電発表
- ・(12/21朝日) 賠償を増額。原賠審指針追加対象148万人。近く東電が支払い手続きを始める。
- ・(12/21朝日) 美浜原発差し止め却下。大阪地裁「40年超稼働、問題なし」―片戸護一弁護士「司法の役割を放棄した判決」と。

6月末の「電力ひっ迫」の真実

土屋 芳久

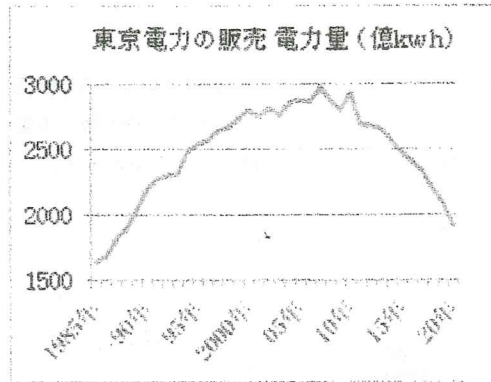
梅雨の時期なのに、6月27日(月)から、関東は記録的な猛暑になり、最高気温が35~37℃と、昨年より10度も高まりました!

6月27日に、東電エリアでは、火力発電所の補修・点検で600万kwが停止していました。火力発電の供給力が大きく減ったところに、時季外れの猛暑で電力需要が急増し、電力がひっ迫しました。

6月27日~30日に「電力ひっ迫・注意報」(後注)が出されると、まるで「電気が足りない」かのような報道が増えました。しかし、日本全体では、電気は足りていました。

減り続ける電力消費量

日本では、電力の消費量はずっと減り続けています。特に、東京電力の「販売電力量」の減り方はすさまじく、2020年の販売電力量はピーク(2007年)から35%も減りました。これは1988年と同じレベルで、32年前に戻りました。だから、東電は、毎年100万kwくらいの火力発電所を廃棄しています。(発電コストの高い、古い石油火力を中心に)。とにかく、電気は余っています!



また、「最大需要電力」も減っています。東電の21年の最大電力(5,665万kw)は、ピークの2007年(6,430万kw)から12%も減っています。とにかく、「電気は足りない」ということはありません。

6月末のマスコミの大騒ぎ

マスコミは「余裕(予備率)が3%を切った。工場もオフィスも家庭も、しっかり節電しないと、大停電する」と騒ぎ立てましたが、予備率(後注)が3%

%になったのは、表1にあるように、6月27日、29日、30日の朝9時のみでした。「まだ朝だから」ということで、準備した電力が少なっただけで、電力そのものが足りなかったわけではありません。時間と共に発電所が徐々に稼働し、電力を最も使う午後には、予備率は8%と、電力は十分にありました。マスコミは大停電の恐れをまき散らす「恐怖報道」はやめて、事実を正しく報道すべきです。

		使用され	準備され	使用
		た電力	た電力	率
		万kw	万kw	%
6/27	9am	4,670	4,830	97
	1pm	5,250	5,630	93
6/28	8am	4,150	4,320	96
	2pm	5,240	5,760	91
6/29	9am	4,780	4,920	97
	1pm	5,300	5,780	92
6/30	9am	4,950	5,100	97
	2pm	5,490	6,000	92
7/1	8am	4,470	4,690	95
	2pm	5,550	6,070	91

(表の上段は使用率が最も高い時。下段は使用した電力が最大の時)

電力ひっ迫は 送電システムの不備による

東京エリアで「電力ひっ迫・注意報」が出ていたとき、他の地域では電力は余っていました。それを証明するのが、日本卸電力取引所の各地域の「スポット市場の取引価格」です。

たとえば、3pmに電気が不足すると判断した電力企業(ほとんどが新電力)は、卸電力取引所で、1時間前に、「買い」の入札を入れます。一方で、電力に余裕のある企業は「売り」を出して、折り合う価格で売りが成立します。ただし、「買い」が「売り」よりもずっと多い時には、スポット価格は急騰します。

表2をみると、東京エリアでは、6月30日の5pm

には1キロワット時(kwh)あたり200円に急騰しました。私たちが支払う電気代は27円くらいでしたから、200円で買った企業は大損失です。しかし、中部や関西では81円で、九州では17円でした。九州に電気は十分にありました。電力がスムーズに流れるシステムならば、価格は均一化しますが、日本ではそうなっていません。

6月末の「電力ひっ迫」は、日本で電力が足りなかったから起きたものではありません。電力は日本全体では十分にありました。問題は、他地域から東京エリアへ電力を送ることができない旧態依然としたシステムです。

大手電力会社は、分割された地域で封建領主のように振舞っています。連系線を増強して、お互いに電力を融通しあうことには後ろ向きです。そして、自民党・経産省はそれを陰で支えています。

		北海道	東京	中部	九州
6/27	1pm	5	45	23	6
	/28 2pm	80	80	39	6
/29	1pm	17	57	30	2
	5pm	111	200	80	23
/30	2pm	19	80	45	10
	5pm	116	200	81	17
7/1	2pm	37	100	30	0
	4pm	50	200	50	6

(スポット価格の上限は80円。ただし、複数のエリアで予備力が3%を下回る場合は、上限を200円にできる)

東と西の連系線は わずか210万kw

電気の周波数は、東日本は50ヘルツ(Hz)、西日本は60Hzなので、そのまま送電することはできません。

東と西の間には「連系線」が引かれ、「周波数変換所」で変換します。容量は今210万kwで、これでは全く不十分なので、有識者会議などが「早く300万kwに増強すべき」と提言してきました。電力会社は、さらなる増強に「1,800億円もかかる」といって、先延ばしにしてきましたが、多くの批判を受けて、27年度に、300万kwに増強することになりました。

東電・中電が提言の通りに増強していたら、すでに300万kwになっていました。(3.11からもう11年も経っています!)。今回の「電力ひっ迫」は東電・中電のサボタージュが原因だといえます。

また、東北~東京エリア間の連系線は605kwです。再エネの電力が豊富な東北や北海道から多くの電力を受け入れるには「連系線の増強が不可欠だ」とずっと言われてきて、遅ればせながら、27年度までに1,030kwに増やす予定です。これも先延ばしせずに、速やかに着手して、もっと早く完成していれば、6月末の「電力ひっ迫」は起きなかったはずですが。

北海道~東北エリアの連系線はわずか90万kwなので、27年度までに120万kwに増やす予定です。北海道はこれから最大で1,500万kwの風力発電所を建てる予定なので、北海道~東京を海底ケーブルで結び、直流送電で結ぶ計画があります。(後述)

蓄電池で 時間差を 埋める

もう一つの問題は、「時間」的な問題です。東京エリアで、6/27に電力は不足気味でしたが、26日(日曜)にはかなり余っていました。蓄電池(バッテリー)に電力を貯めておけば、27日に「ひっ迫注意報」を出す必要はなかったでしょう。また、夜間に電力をバッテリーに貯めて、昼間に使えば、電力ひっ迫は緩和されます。

ただし、急いで大量のバッテリーを導入するのは無駄が多過ぎます。再エネが発電量の半分を超える頃には、バッテリーが大量に必要になります。(その一部分を電気自動車に担うはずですが)。バッテリーの技術進歩はすさまじく、コストは急低下しています。2040年には、性能が高まり、希少金属の使用量を大きく減らした、低コストのバッテリーができていくでしょう。そうなった時に、再エネのバックアップとして導入するのが適切でしょう。

原発の維持費は 毎年1兆2千億円

経産省は「稼働していない原発の維持費に、毎年1兆2千億円かかっている」と発表しています。10年で12兆円です。原発を廃炉にしていれば、この12兆円の一部で、東・西を結ぶ「周波数変換所」をつくり、日本中に送電網を整備することができました。そうなっていれば、冬に心配されている「電力ひっ迫」もありえません。

ヨーロッパでは、国際送電網がとてもしっかりしています。たとえば、イタリアで太陽光発電が急減したとき、スポット市場で、ノルウェーの水力発電の電気を買えます。電力なので、瞬時に送電できます。

日本も送電網を整備すれば、北海道の風力発電や九州の太陽光発電の電気を大都市に送れます。

九州の再エネはしばしば停止を求められ、汚染が少ない電力を捨てています。なんともったいないことか! 表2で7月1日のスポット価格をみると、使用電力が最大の2pmに、東京エリアでは100円

でしたが、九州では0.01円でした！4pmには東京エリアで200円でしたが、九州では6円でした。(卸電力取引所のホームページを見ると、0.01円という時間帯がたくさん並んでいます)

日本の送電網が整備されていれば、九州の再エネ電力は捨てることなく、はるかに高い価格で売ることができます。その分だけ、収入が増え、雇用も増え、地域の活性化に寄与します。

残念なことに、政府は電力会社のサボタージュを裏から支えました。これまでの経緯を見ると、今回の「電力ひっ迫」は政府と電力会社が引き起こした、といえるでしょう。

直流送電の時代に

電流には(常に一方向に流れる)「直流」と、(1秒間に50、60回、方向が変わる)交流があります。日本では、火力や水力発電所で起こした電力を、発電所内で50万ボルト(V)の高電圧に高めます。電圧が高いほど送電ロスが減るため、なるべく高い電圧の交流を用いて長距離を送電し、別の変電所で、たとえば、15万Vへ、次に6万Vへ、さらに6,600V、100Vと低い電圧に変えていき、需要地に送ります。家庭では100Vの交流を受け取ります。

しかし、送電は「交流」でも、商用や家庭用の電力の8割は「直流」で使われています。テレビ、オーディオ機器、LED照明などは直流で動いています。(それぞれの機器の内部に、交流から直流へ変換する機器が入っています。LED電球が重くて高価なのはそのためです)。ノートパソコンもスマートフォンも「直流」で、(電流がプラスからマイナス方向に流れる)電池で動きます。ノートパソコンやDC(直流)扇風機は、コンセントからの「交流」をアダプターで直流に変換しています。

直流は、初期には、効率よく変圧できなかったもので、交流送電が一般化しました。

しかし、今はパワー・エレクトロニクス技術が急速に進歩し、直流でも、高電圧・大電流を効率よく変圧・制御できるようになり、長距離送電では、直流が優位になっています。そのため、大規模で長距離の送電も直流を進めるといった考え方が強くなってきました。

スイスの重電大手ABBは高圧・直流送電で100件以上の実績があり、世界首位です。ブラジルで2,400km(稚内～那覇、東京～モンゴル)を高圧・直流送電で結んでいます。容量は3ギガワット(Gw)と、出力では原発3基分に相当します。送電電圧は60万Vと高圧です。

(Gw=100万kw。平均的な原発が100万kwで、

比べやすいので、以下ではGwを使います)

また、中国内陸のダムから上海まで2,000kmを、7Gwを直流送電できます。送電効率93%は、この長距離では立派です。

モロッコ～イギリスの3,800kmを直流送電する計画があります。モロッコの太陽光や風力発電は1kwhあたり2円未満で発電できるので、イギリスに海底ケーブルで送電しても、十分にペイします。

日立が世界一の「直流送電」企業に

日立が2020年にABBの送配電事業を7,500億円という巨額で買収し、世界最大の直流送電の企業になりました。世界中で再エネが急増しており、拡大する送配電事業を獲得するためです。(中国企業が国家の大きな支援を受けて、すごい勢いで追いかけています)

日立ABBはインドで80万Vの超高压・直流送電の大型プロジェクト工事を納入しました。大量の再エネ電力を1,800km(稚内～鹿児島に相当)離れた都市部に送電しています。送電容量は6Gwです。来年に人口が世界一になるインドは再エネを400Gwに拡大する目標を掲げています。このプロジェクトはABBにとって、インドで6番目の高圧・直流送電です。

日本でも 直流送電システム

2019年に、北海道・本州間の「北本(きたほん)連系」に、「直流送電」による30万kwの「新北本連系」が追加され、容量が90万kw(0.9Gw)へ増強されました。

日本は脱炭素に向けて、40年に30～45Gwの洋上風力発電を導入する計画です。うち10～15Gwが北海道で、北海道から海底ケーブルを用いて、「高圧・直流」で東京エリアへの送電が想定されています。

また、九州から関西への海底送電も検討に入りました。九州も大きな再エネのポテンシャルを持っています。しかし、九州電力は19年度に74日、20年度に60日も、太陽光と風力発電による電力に対して、出力抑制を実施しました。しかも、何の補償も支払わずに。

政府が再エネを増やすというなら、こんなバカげたことは早く止めるべきです。そして、まずは九州からの連系線を増強し、次に、九州～関西の海底送電を決めるべきです。これは九州の活性化につながります。

北海道	東北	九州	日本全体
9～15	6～9	8～12	30～45

国内最長の直流送電線は「北本連系線」で、陸上124km、海底43kmの合計167kmです。(欧州では、たとえばイギリス～ノルウェーの海底ケーブルは720km)。

長距離の送電では、直流送電は、交流より低コストです。たとえば、北本連系線では、交流は6本の送電線が必要ですが、直流は3本か4本で済みます。また、送電ロスもはるかに少なくなります。

北海道～東京間の 工事費

北海道～東京(海底ケーブルで900km)を結ぶ直流送電を新設する費用として、容量4Gwならば、0.8～1.2兆円と試算されています。8Gwなら、1.5～2.2兆円です。

「送電網には多額のコストがかかり、電気料金が上がる」といわれますが、原発の維持費に毎年1兆2千億円も支払っている方が比較にならないほどの無駄です。

北海道～東京まで8Gwの直流送電を含めて、全国で送電網を整備しても、5兆円以下でしょう。5兆円として、送電網は長く使うので、30年間では、

土屋芳久(つちやよしひさ)

1949年生まれ。慶応大学経済学部卒。民間企業、都庁を経て、世界数十カ国を働きながら5年間回る。レーガン政権下のアメリカで、世界経済がとんでもない方向に進むことを実感。その後、千葉県九十九里の地で有機農業やさまざまな地域活動にかかわり、皆で楽しく喜ぶ世界を目指す。

ニュースレターvol.6(2022年11月)



連絡先
toshiko_english@
xf7.so-net.ne.jp
090-8494-3856
(岡田)
賛助会員募集
カンパ歓迎

